

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社フルヤ金属
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 古屋 堯民
 (氏名) 大石 一夫

TEL 03-5977-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	8,620	△12.9	941	△40.6	934	△38.9	385	△73.6
23年6月期第1四半期	9,896	103.5	1,583	100.1	1,528	98.7	1,458	77.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	53.32	53.13
23年6月期第1四半期	249.50	248.36

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	33,482	18,805	56.1	2,597.13
23年6月期	33,849	18,707	55.2	2,584.05

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 18,791百万円 23年6月期 18,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年6月期	—				
24年6月期(予想)		0.00	—	40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,680	△7.3	2,178	△21.7	2,090	△22.2	1,241	△51.1	171.58
通期	38,450	9.3	4,950	11.3	4,750	13.5	2,820	△22.0	389.90

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	7,265,212 株	23年6月期	7,265,212 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	29,850 株	23年6月期	32,603 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	7,265,212 株	23年6月期1Q	6,337,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後に落ち込んだ鉱工業生産が、サプライチェーンの回復に伴い急速に拡大し、復興需要による公共投資の増加や、個人消費の緩やかな回復傾向が出てまいりました。一方、米国国債の格付問題や、ギリシャの債務問題で動揺しているユーロ圏経済の悪化もあって、円が史上最高値を更新するなど、輸出産業を中心に厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や電子デバイス、半導体の需要は、地デジ切替後の薄型テレビ生産減少も含め、情報通信機器の生産が減少し、半導体製造装置の受注環境も悪化するなど、全体として弱含み、在庫調整の影響が、当社の薄膜事業やセンサー事業受注にも影響いたしました。一方、LED関連やスマートフォン関連需要は、引続き堅調で、当社主力製品であるシリジウムルツボや銀合金ターゲットの受注は堅調に推移いたしました。その結果、当第1四半期累計期間において、売上高8,620百万円（前年同四半期比12.9%減）、売上総利益1,435百万円（前年同四半期比28.7%減）、営業利益941百万円（前年同四半期比40.6%減）、経常利益934百万円（前年同四半期比38.9%減）、四半期純利益385百万円（前年同四半期比73.6%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

取引先の設備投資計画がずれこんでいる影響はあるものの、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けシリジウムルツボの受注が堅調に推移し、売上高4,377百万円（前年同四半期比5.4%増）、売上総利益909百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が増加しましたが、HDの記録容量増大用ルテニウムターゲットは、在庫調整が続き、さらに円高が進んだ影響を受けて、売上高2,925百万円（前年同四半期比24.8%減）、売上総利益319百万円（前年同四半期比61.9%減）となりました。

[センサー]

半導体製造装置業界の受注環境が悪化したことから、売上高327百万円（前年同四半期比28.8%減）、売上総利益103百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

[その他]

電極材料としての貴金属化合物の受注は堅調に推移いたしました。化学・化成品プラント向けの触媒製造用貴金属化合物の受注が減少したことから、売上高990百万円（前年同四半期比28.9%減）、売上総利益103百万円（前年同四半期比65.1%減）となりました。

②海外売上

当第1四半期累計期間における輸出売上高は1,524百万円（総売上高に占める割合17.7%）となりました。地域別にはアジア向け輸出売上高1,434百万円（海外売上高に占める割合は94.1%）、北米向け輸出売上高63百万円（海外売上高に占める割合は4.1%）、欧州向け輸出売上高26百万円（海外売上高に占める割合は1.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は33,482百万円（前事業年度末比367百万円の減少）、負債は14,676百万円（前事業年度末比466百万円の減少）、純資産は18,805百万円（前事業年度末比98百万円の増加）となりました。

①流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産残高は27,126百万円となり、前事業年度末比395百万円減少いたしました。これは、たな卸資産が486百万円増加しましたが、現金及び預金が358百万円、売掛金が135百万円、未収消費税等が358百万円減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産残高は6,355百万円となり、前事業年度末比27百万円増加いたしました。

③流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債残高は11,013百万円となり、前事業年度末比106百万円減少いたしました。これは買掛金が728百万円、未払法人税等が286百万円増加しましたが、短期借入金が200百万円、未払金が193百万円、設備関係未払金が404百万円減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債残高は3,663百万円となり、前事業年度末比360百万円減少いたしました。これは長期借入金が193百万円、繰延税金負債が171百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期会計期間末における純資産残高は18,805百万円となり、前事業年度末比98百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が88百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、「平成23年8月12日付平成23年6月期決算短信（非連結）」で発表しております計画から変更はありません。

なお、10月に発生いたしましたタイの大規模洪水の影響で、主要なHDDメーカーにも被害が出ております。これにより、セグメント「薄膜」の主要製品であるルテニウムターゲットの受注に影響が出始めておりますが、現時点では業績の影響額を算定することが困難なため、今回の第2四半期（累計）業績予想と通期業績予想には織り込んでおりません。今後業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、市場の動向、急激な為替変動、災害等による影響などがありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,206	3,848
受取手形	139	106
売掛金	3,549	3,414
商品及び製品	2,526	3,042
仕掛品	1,698	2,540
原材料及び貯蔵品	14,806	13,934
前払費用	61	67
繰延税金資産	53	50
未収消費税等	463	105
その他	16	16
流動資産合計	27,521	27,126
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,662	2,638
構築物（純額）	83	87
機械及び装置（純額）	1,526	1,513
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	19	18
土地	1,612	1,612
リース資産（純額）	106	117
建設仮勘定	39	39
有形固定資産合計	6,049	6,026
無形固定資産	155	150
投資その他の資産		
繰延税金資産	—	24
その他	123	154
投資その他の資産合計	123	178
固定資産合計	6,328	6,355
資産合計	33,849	33,482

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,901	6,629
短期借入金	1,700	1,500
1年内返済予定の長期借入金	1,293	1,249
リース債務	34	37
未払金	490	297
未払法人税等	464	750
災害損失引当金	50	50
賞与引当金	116	93
役員賞与引当金	36	—
設備関係未払金	473	69
前受金	397	139
その他	161	196
流動負債合計	11,119	11,013
固定負債		
長期借入金	3,060	2,867
繰延税金負債	171	—
リース債務	98	104
退職給付引当金	235	234
資産除去債務	14	14
長期未払金	425	425
その他	16	16
固定負債合計	4,023	3,663
負債合計	15,142	14,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	7,904	7,992
自己株式	△163	△149
株主資本合計	18,689	18,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△0
評価・換算差額等合計	—	△0
新株予約権	17	14
純資産合計	18,707	18,805
負債純資産合計	33,849	33,482

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,896	8,620
売上原価	7,882	7,185
売上総利益	2,014	1,435
販売費及び一般管理費	431	494
営業利益	1,583	941
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ評価益	9	4
助成金収入	—	9
雑収入	1	2
営業外収益合計	11	17
営業外費用		
支払利息	45	23
為替差損	21	0
雑損失	—	0
営業外費用合計	66	24
経常利益	1,528	934
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	7	—
税引前四半期純利益	1,520	934
法人税、住民税及び事業税	2	741
法人税等調整額	59	△193
四半期純利益	1,458	385

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第1四半期累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	4,153	3,889	459	1,393	9,896
セグメント利益	739	837	141	295	2,014

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

- II 当第1四半期累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高 外部顧客への売上高	4,377	2,925	327	990	8,620
セグメント利益	909	319	103	103	1,435

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。